

事務事業評価シート

(H.28)No.	1355	(H.27)No.	1355
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ひとり親家庭学習支援ボランティア事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども家庭室	福地 さおり	

会計区分	事業コード	190520
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	児童福祉総務費	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	ひとり親家庭学習支援ボランティア事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
子どもたちが、精神面や経済面で不安定な状況に置かれることによって引き起こされる学習や進学の意欲低下や、十分な教育が受けられないことによる将来に亘っての不利益な影響を与えかねない状況について、改善を図る。
事業内容
ひとり親家庭の児童を対象にした学習支援ボランティア(有償)による学習支援のほか、生活上の支援を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)			
	・学習支援ボランティアによる学習支援を業務委託により実施 (対象者:市内ひとり親家庭の小中学生/開催日数:80回/実施場所:福祉まちづくりセンター/利用登録者数:14人/支援ボランティア登録数:16人)	・学習支援ボランティア等による学習支援及び生活支援を業務委託により実施 (対象者:市内ひとり親家庭の小中学生10人程度/開催予定:週3回)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
			平成28年度と同様	平成28年度と同様	平成28年度と同様

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円
内訳(千円)	国・県支出金	2,250	2,250	2,250	2,250
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 750	750	750	750	750
人工数	職員	0.15人	0.20人	0.20人	0.20人
	臨時職員等	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
②概算人件費	(0千円) 1,259千円	1,639千円	1,639千円	1,639千円	1,639千円
①+②総事業費	(0千円) 4,259千円	4,639千円	4,639千円	4,639千円	4,639千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
登録利用者数、支援ボランティアともがわずかではあるが増加した。さらに支援ボランティアの確保やひとり親家庭の保護者への周知が必要である。	国の事業メニューの見直しがなされ、基本的な生活習慣の習得支援、学習支援のほかに食事の提供ができるようになった。(→ひとり親家庭等生活向上事業)支援ボランティアと国や県と調整を行い、円滑に進めていきたい。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	ひとり親家庭の児童等の学習支援、生活支援を行い、子育て環境の向上を図る。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	平成27年度も事業を地域づくり組織である団体に委託して実施した。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
親から子どもへの貧困の連鎖を断ち切るという国の施策を受けて、継続的な事業実施の必要がある。	ばりっ子すくすく計画